

第2決算審査特別委員会報告

福祉課

- 地域包括支援センターは主任ケアマネージャー、保健師、社会福祉士の資格が必要な職場であり、地域包括支援センターの体制強化を希望した。
- 民生・児童委員の活動について困難な事例が増加していることから、最初に活動内容や役場・関係機関との連携の重要性について説明の周知徹底をお願いした。
- 予算不用額の取り扱いは事業内容から緊急性や人命に関わる事案発生も考慮し予算化しているので内容によっては必要なくて“よかった”という結果にも理解していただきたいとの説明をうける。

環境課

- 高度処理浄化槽推進の取り組みは、機能回復事業費補助額の減少が見込まれる。
- 工事業者への技術指導の充実や業務チェック等にも取り組んでいる。
- 今後のクリーク水質改善事業構想や将来町全体の環境改善に大きな効果が期待される等の報告を受け、町づくりへの一層の取り組みを見守る。
- クリーンエネルギー普及を目的に今年3月に寄贈を受けた電気自動車の利用率向上について町民の目に留まるよう各部署で活発に利用するよう要望した。

学校教育課

- 学校給食に関して、給食センターの老朽化と営繕対策・地場産野菜の消費推進と食材の定期検査・リフト点検の状態改善を要望した。
- 体力づくりについては、運動能力テストで全種目で全国平均レベルになる様、小・中学校でバランスのとれた体力づくりの必要性を指摘し、要望した。



授業風景

生涯学習課

- こっぽーっとホールイベント企画運営委員会は、利用開始から5年以上経過していることで内容・予算・委員構成の見直しを行い、より一層充実したイベント開催を進めてほしいと要望した。
- 松永伍一先生の遺族の方より、自筆の原稿や資料提供があり、整理・保管を行っているとの報告を受け、その資料の保存や活用方法の検討をお願いした。



保育園の砂場

こども未来課

- 大溝学童保育所新築工事の関係書類一式を閲覧して、入念に内容を確認した。関係書類は的確に整理され、手続き等に問題はなかったが設計図の確認や工事施工の監理は専門的知識の必要性が高いことから、一括して営繕・管理を担う担当課の必要性を強く感じた。
- 保育園の衛生管理で特に砂場は乳幼児期にとって極めて必要な環境であるとし、仲間遊びや一人遊びは心の成長に大事な環境施設であろうと考えられ、計画的な抗菌剤消毒、防鳥ネットでの犬猫や鳥の侵入防止励行や糞尿の有無確認など砂場の衛生には特に留意していると説明を受けた。

税務町民課

- 人権啓発活動地方委託事業(人権の花、ひまわりを育てる)について、27年度事業は本町が担ったとの説明を受けた。

健康課

- 特定健診で本町は特に医療費が高いので今後検診の内容の「見える化活動」をしていきたいとの答弁を受けた。
- 健康福祉センターは年間20万人の利用があるが、毎年修繕工事費用額が大きいことからアクアス存続も含め検討委員会・第三者検討委員会の設置や民意を問う住民アンケートの実施を要望した。

27年度大木町国民健康保険特別会計歳入歳出決算審査

- 27年度後半に高額な薬剤の使用が始まったことから1405万387円の赤字決算となっている。
- 大木町国民健康保険の実績は年間平均世帯数1778世帯、被保険者数3347人、医療費総額14億5354万3664円、一人当たり43万4283円(26年度40万3813円)となっている。
- 今後は特定健診の受診率向上を図り、医療費抑制に努め国民健康保険制度が安定した運営になるよう要望した。

27年度大木町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算審査

- 実質収支額557万9606円の黒字決算となっている。
- 運営は広域連合が行い、町のかかわりは被保険者と直接関係する異動、保険証の交付等の窓口業務や納付書の発行、保険料の徴収業務等である。

出席委員全員一致により、原案の通り可決。